

2023年1月11日

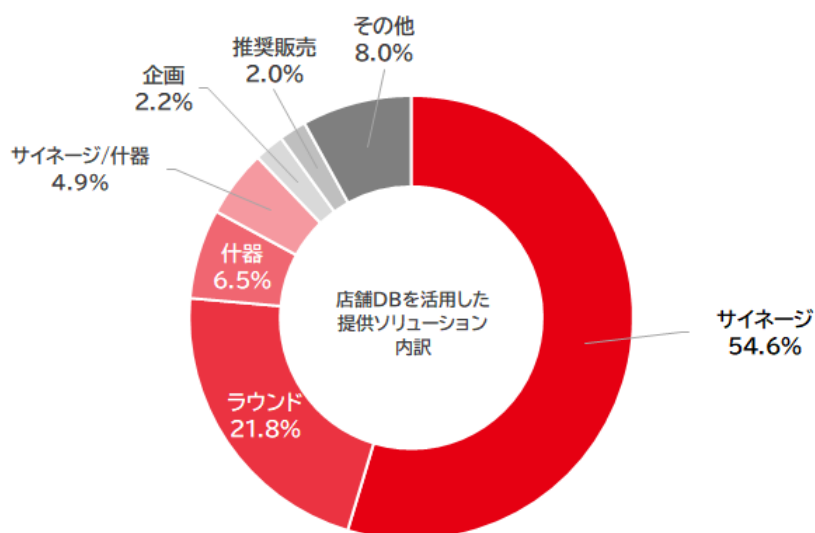
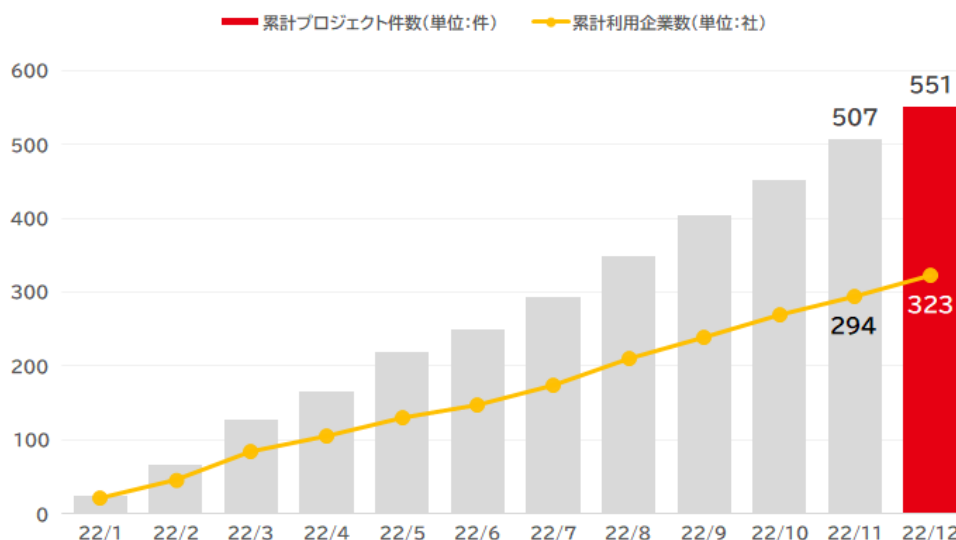
インパクトホールディングス株式会社（東証グロース・証券コード:6067）

## 2022年度 累計店舗DB提供数およびフィールド業務稼働件数のお知らせ

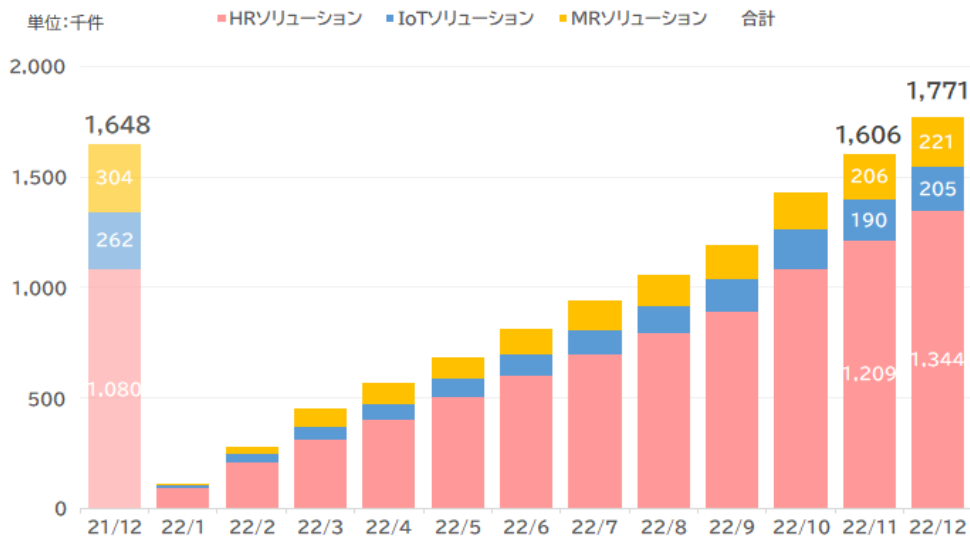
SDGs 販促を推進するインパクトホールディングス株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：福井 康夫、東証グロース・証券コード:6067、以下「当社」）は、ラウンダー、推奨販売、デジタルサイネージ、覆面調査等のフィールドマーケティングサービスを全国で展開しており、累計1,000万件超の業務実績、店舗DBを蓄積しています。2022年度の累計フィールド業務稼働件数をお知らせいたします。

## ◆ 累計店舗DB提供数 概況

2022年度の店舗DB累計利用企業数は323社（前月比:29社増）、プロジェクト件数は551件（前月比:44社増）となり、店舗DBを活用した提供ソリューションの内訳は、サイネージが54.6%、ラウンダーが21.8%、什器が6.5%の順に多い結果となりました。



◆ 累計フィールド業務稼働件数 概況



- HRソリューション事業は、前月に続き、大手電子決済サービス店頭ロゴマーク掲出、利用確認ラウンドが好調に推移。また販促物設置・交換ラウンドも堅調に推移し、HRソリューション全体では前年同期比 24.4%増。
- IoTソリューション事業は、エレベーターメディアサイネージやトイレ向け密回避 IoT サイネージを中心に出荷。
- MRソリューション事業は、携帯ショップのコンプライアンス調査、大手居酒屋チェーン・飲食店での覆面調査、また飲料メーカーのサンプリング調査の大型案件が稼働し、1.4 万件稼働。

【注】

- ※ 案件により売上計上月が翌月、翌々月等になる場合もあり、稼働件数と売上計上月は連動していません。
- ※ 以前に比べ、提供ソリューションのライナップが増加しており、ソリューションごとで 1 件あたりの単価が大きく変動いたします。そのため、稼働件数が多い場合でも売上への寄与度が小さかったり、稼働件数が少ない場合でも売上への寄与度が大きかったりする等、稼働件数と売上は連動していません。
- ※ あくまで参考データとしてご参照ください。

◆ 店舗 DB とは

店舗 DB とは、当社グループが創業期よりラウンダー、推奨販売、覆面調査等のフィールドマーケティング業務レポート、デジタルサイネージの出荷台数、オンラインサイネージから取得した棚前消費者行動等から収集した累計 1,000 万件超のデータに加え、地域経済分析システム「RESAS(リーサス)」や政府統計ポータルサイト「e-Stat(イースタット)」等のオープンデータ、企業の店舗情報を集約した独自のデータベースです。AI 分析により無数の切り口を自動作成し、機械学習で切り口の優先順位付けを行い、効率良く施策の企画・立案、効果的かつ効果的な店頭販促企画を実施するための店舗を抽出することが可能です。

【本件に関するお問い合わせ】

インパクトホールディングス株式会社 広報担当  
TEL:03-5464-8321 / E-mail:pr@impact-h.co.jp